



発行所
 社団法人
 神奈川県造園業協会
 横浜市中区常盤町2-10
 伸光ビル2階〒231-0014
 電話 (045) 662-8793
 662-1767
 FAX (045) 662-4381
 年間購読料 3,150円
 (郵送料を含む)
 ただし会員の購読料は会費に含まれています。



<http://www.kanagawazoen.or.jp>

「かながわ街路樹パートナー制度」について

街路樹を県民等で守り育てる取組

神奈川県 県土整備局 道路部 道路管理課

県では、これまで、植栽帯への花植えや清掃について、県民の参加により道路維持ボランティア活動を進めてきましたが、この活動と連携を図りながら、街路樹を多くの皆様の参加により、守り育てていくことを

目的として、新たに「かながわ街路樹パートナー」を募集することにより、県管理道路の街路樹の維持管理に役立てるための寄附を活用する制度を平成22年度に創設しました。

この度、本制度によって 決定した街路樹パートナー(寄附者)のお名前やメッセージ等を書き込んだ「樹名板」及び「表示板」を現地に初めて設置しましたので、ご紹介させていただきます。



県道78号(御殿場大井)南足柄市竹松地内に設置した表示板(掲出期間:5年間)
 ※写真(右)は表示板の側面表示



街路樹に設置した樹名板(掲出期間:5年間)
 ※写真(左)は県道47号(藤沢平塚)(右)は県道78号(御殿場大井)

今回新設した制度

県民と協働して街路樹を守り育てる取組み

寄附(募金)

かながわ街路樹パートナー県管理道路にある街路樹の維持管理費に役立てるための寄附(募金)を頂く制度です。県が管理している街路樹に、協力者(寄附者)のお名前やメッセージ等を書き込んだ「樹名板」または「表示板」を設置します。

(樹名板(デザイン))

樹名 ケヤキ
 かながわ街路樹パートナー協力者
 神奈川 ひかり
 地元の樹木を大切に、大切に育ててほしい。

道路維持ボランティア活動

きれいな道づくり活動
 県主催のイベントとして、毎年2回、県内各地で道路清掃を行っています。

かながわアダプトプログラム
 各種団体が県管理道路の特定区間の「里親」として、定期的に清掃等を行います。

道守サポーターズ
 参加者は、簡単な手続きにより活動の場所と内容を事前に登録し、各自のペースで清掃活動等を行います。

連携

■募集結果

路線名	コース	募集数	応募数	決定数
県道47号 (藤沢平塚)	Aコース (樹名板1枚)	30本	33本	33本
	Bコース (表示板1基)	95本	73本	73本
県道78号 (御殿場大井)	Aコース (樹名板1枚)	3区間 (105本)	4区間 (140本)	4区間 (140本)
	Bコース (表示板1基)	200本	213本	213本
	小計	230本	246本	246本
2路線・総合計		230本	246本	246本

今年度も引き続き、新たな路線を対象とした「かながわ街路樹パートナー」の

平成22年度の初めての募集は、県道47号(藤沢平塚・藤沢市大庭地内)及び県道78号(御殿場大井・南足柄市竹松地内)足柄上郡開成町吉田島地内)の県管理道路2路線2箇所を対象にしました。

平成22年9月10日から10月29日まで230本を対象に募集した結果、246本の応募があり、その全てを「かながわ街路樹パートナー」として決定しました。今回の募集による収入額は246万円であり、平成23年度の予算として収入済となっています。

なお、寄附金は、今回設置した樹名板及び表示板の制作・設置に係る費用として使用するとともに、街路樹の維持管理費の一部として役立てさせていただきます。

平成23年7月28日及び29日「樹名板」及び「表示板」を現地に設置しました。その際は、パートナーの皆さまにも事前にお知らせをしまして、当日お越し頂いた方には、ご自分で樹名板を設置していただきました。

樹名板を手に談笑される姿や、樹名板を設置した街路樹の前に記念写真を撮るなどの姿があり、「街路樹を多様な主体の参加により守り育てる」という目的に向けて、大きな期待が持てる一歩となりました。



表示板の保護シートを外して記念撮影



樹名板を手に談笑するパートナーの皆さま



樹名板を設置した街路樹で記念写真を撮るご家族



表示板のQRコードで情報収集も可能



パートナーが自らの手で樹名板を街路樹に設置することで、緑への温かい気持ちが入められる



募集を予定(本年秋頃)しています。

本県では、この制度をきっかけに、道路愛護やボランティア活動への参加を更に促し、道路管理の面において、広く県民や企業等の皆様との協働を進めていくとともに、適切な街路樹の維持管理を進めてまいりたいと考えています。

社団法人神奈川県造園業協会 第三十七回通常総会開催

第三十七回(社)神奈川県造園業協会通常総会が五月二十日ホテル横浜ガーデンに於いて出席者百七十五名委任状二百四十四通のもと開催されました。

根岸副会長の司会で始まり石川副会長の開会の言葉、岸本和好会長挨拶の後、第三十五回会長表彰が行われ、技能功労者九名を代表してカワダ園芸 川田照男様、優秀技能者二十名を代表して(有)原造園園

次いで、第三号議案平成二十三年度事業計画(案)、第四号議案平成二十三年度収支予算(案)が一括審議され、満場一致で承認されました。

次いで、第五号議案平成二十四年度暫定予算の理事會一任について審議され満場一致で承認されました。

次いで、第六号議案任期

満了に伴う役員を選任議案が提案審議され、満場一致をもって理事・監事が選任されました。

引き続き、総会を暫時休憩して理事互選による会長・副会長選出のための第一回理事會が開催され、総會再開後今泉選出委員長より全会一致をもって、会長に岸本和好氏が再任、副会

長に高橋克明氏、小山俊一氏、石川龍二氏が再任、渡邊宣昭氏が新任をされた旨報告され、承認されました。

続いて、この度退任される役員六名の方々に對し、感謝と敬意を表する言葉が添えられて感謝状と記念品が贈呈されました。

続いて、岸本会長による再任挨拶、渡邊副会長の新任挨拶の後高橋副会長の閉會の言葉で通常総会は終了しました。

その後「みどりを創り、育てる」集いが盛大に開催されました。

長に高橋克明氏、小山俊一氏、石川龍二氏が再任、渡邊宣昭氏が新任をされた旨報告され、承認されました。

続いて、この度退任される役員六名の方々に對し、感謝と敬意を表する言葉が添えられて感謝状と記念品が贈呈されました。

続いて、岸本会長による再任挨拶、渡邊副会長の新任挨拶の後高橋副会長の閉會の言葉で通常総会は終了しました。

その後「みどりを創り、育てる」集いが盛大に開催されました。

神奈川県造園業協同組合
平成二十三年通常総会開催

続いて、第二号議案平成二十三年度決算報告及び監査報告が一括審議され満場一致で承認されました。

続いて、第三号議案平成二十三年度事業計画(案)、第四号議案平成二十三年度収支予算(案)が一括審議され満場一致で承認されました。

続いて、第五号議案任期満了に伴う役員改選について審議され、各支部から推薦いただいた方々が満場一致で承認されました。

続きまして、正副理事長選出のための第一回理事會が開催され古川香選出委員長



長谷川副理事長開会の辞

した。

続いて、第二号議案平成二十三年度決算報告及び監査報告が一括審議され満場一致で承認されました。

続いて、第三号議案平成二十三年度事業計画(案)、第四号議案平成二十三年度収支予算(案)が一括審議され満場一致で承認されました。

続いて、第五号議案任期満了に伴う役員改選について審議され、各支部から推薦いただいた方々が満場一致で承認されました。

続きまして、正副理事長選出のための第一回理事會が開催され古川香選出委員長

のものと審議され、副理事長に長谷川寿雄氏が再任、村木建一氏、蛭田榮一氏が新任され、理事長は神造協会長が兼任することから午後神造協協結果により理事長が決定する旨満場一致で承認され議案審議は終了しました。

続きまして、この度ご退任されます理事九名の方々に對し、感謝と敬意を表する言葉が添えられて感謝状と記念品が贈呈されました。

続いて、長谷川・村木・蛭田副理事長による再任・新任挨拶、高橋・甘利氏による退任挨拶後北村理事の閉會の言葉で通常総会は終了し、その後懇親会が行なわれ和やかなひとときとなりました。

会長挨拶 更なる協会発展に向けて 岸本 和好

本日は、ご多用の中多数の会員の皆様にご出席いただき、平素から協会の事業運営に多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、只今の総会において引き続き会長に再任されましたが、責任の重大さを感じています。微力ではございますが協会発展のため誠心誠意全力を尽くしてまいりますので副会長共々ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

さて、造園業を取り巻く環境は大変厳しいものがあり、このような状況の中で去る三月十一日の東日本大震災により未曾有の被害と

福島第一原子力発電所の放射能物質の汚染や電力節減により産業・雇用・生活に計り知れない影響を与えております。私も一日にも早い復興を願っており、少しでもお役に立てばと思ひ義援金を皆様にお願ひしているところでございます。

いずれにしても早急に数次にわたる復興予算が編成されると思ひますが、限られた財源で手当てされますので造園の仕事がさらに削減されるのではないかと懸念しているところでございます。

加えて、会員の退会が続いております。私も知恵と創意工夫をして一致団結しこの困難を乗り越えて進

みたいと決意しているところでござい

この大変厳しい困難を乗り越えていくためには、一には、引き続き協会の体質改善と合理化を進めていくこと。二には、部会・委員会が研鑽を重ね事業の分野の開拓と技術の向上を図っていくこと。三には、次代を担う若い人たちに伝統的技術・技術を継承し人材を養成していくことが重要であると考えております。

東日本大震災という千年に一度の逆境の中、このような課題に取り組んで参りますので、会員皆様の一層のお力添えとご指導の程宜しくお願い申し上げます。ご挨拶と致します。



岸本会長挨拶

本日は、ご多用の中多数の会員の皆様にご出席いただき、平素から協会の事業運営に多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、只今の総会において引き続き会長に再任されましたが、責任の重大さを感じています。微力ではございますが協会発展のため誠心誠意全力を尽くしてまいりますので副会長共々ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

さて、造園業を取り巻く環境は大変厳しいものがあり、このような状況の中で去る三月十一日の東日本大震災により未曾有の被害と

(社)日本造園建設業協会神奈川県支部第三十五回通常総会が五月二十日ホテル横浜ガーデンに於いて開催されました。

土志田総務委員長の司会で始まり、田澤副支部長の開会の言葉、山田支部長挨拶の後、支部規定により山田支部長が議長に選出され、第一号議案平成二十二年年度会務報告及び事業報告、第二号議案平成二十二

年度収支決算報告及び決算報告が一括審議され満場一致で承認された。

続いて、第三号議案平成二十三年度事業計画(案)、第四号議案、平成二十三年度収支予算(案)、が一括審議され満場一致で承認、次いで、第五号議案総会議決事項の委任について満場一致で承認され、岡田副支部長の閉会挨拶で通常総会は終了しました。



山田支部長挨拶

協会・役員一覧表

◎部会長・委員長
○副部会長・副委員長

相談役 下田 勇 横須賀 (株)太陽造園
相談役 田澤 幸作 横濱南 (株)田澤園
相談役 鈴木 一松 旭 (株)みやした園芸

総務・厚生委員会委員一覧

支部名	氏名	事業所名
鶴見	杉本 健一	(株)杉本造園
港北	◎青木 治	(有)アオキグリーン
緑・東	前田 湯孝	前田農園
緑・西	松倉 仁	一造園土木(株)
神奈川	高橋 義巳	(株)高橋造園
旭	齋地 亘	(有)ウィスタリアグリーン
保土ヶ谷	清水 克巳	ニホンターフメンテナンス(株)
瀬谷	相澤 正章	東都造園(株)
戸塚	石井 直樹	石井造園(株)
戸塚	牧野 博	(有)マキノ造園
金沢・磯子	山田 武夫	(株)ワールドグリーンメンテナンス
横浜中央	新井 聡	アライ・ランドスケープ
横浜中央	内田 悟史	(株)大匠緑化建設
横浜	栗飯原吉伸	(株)濱田園
横浜港南	◎荒井 秀利	アライグリーン(株)
川崎南	野村 強	野村造園建設(株)
川崎北	斎藤 淳	(株)斎藤造園
川崎北	三田 伸裕	(株)三田植木
横須賀	佐藤 英雄	関東興産(株)
湘南東	◎犬山 清史	湖南造園(株)
湘南西	原 伸定	(株)植徳
湘南中央	入内島 茂	(株)高倉園グリーンセンター
県央	森住 等	(株)三田造園土木
県北	石井 敏明	(株)明英造園
相模原	座間 浩一	(株)座間造園
相模原	大木 繁	高橋造園(株)

情報委員会役員一覧

支部名	氏名	事業所名
鶴見	前田 陽介	俊庭園
港北	真田 達夫	(株)真田造園
緑・東	男全 恵巳	(株)山田富士組
緑・北	◎川田 照男	カワダ園芸
神奈川	◎篠原 英夫	藤造園建設(株)
旭	櫻井 秀則	櫻井造園土木(株)
瀬谷	小林 新一	(株)小林園
戸塚	◎木下 透	(株)木下庭園管理
金沢・磯子	石井 康明	山葉造園
横浜中央	吉田 龍	(株)草のよしだや
横浜南	岡本 勝正	岡本造園
横浜港南	名取 伸二	(株)ナトリガーデン
川崎南	高塚 星	(株)愛花園
川崎北	大久保義治	(株)大久保園
川崎北	三家 護	(株)みつや園
横須賀	菊地 良星	(株)アートサービス
湘南東	安藤 信介	安藤植木(株)
湘南西	吉澤 賢治	(株)吉澤造園土木
湘南中央	本間 正光	松南緑化産業(株)
県央	井上 富雄	森下造園(株)
県北	大熊 直人	湘南植木(株)
相模原	佐藤 雅人	(株)植雅庭園

教育研修委員会役員一覧

支部名	氏名	事業所名
鶴見	山田 眞一	(株)山田造園
港北	大庭 富夫	(株)マエキ
緑・西	◎荒川 昭男	(株)庭工荒川
神奈川	今泉 健寿	(株)環境造園
旭	山岸 誠	山岸園
保土ヶ谷	坂井 博	(株)イエナランドスケープ
瀬谷	青木 司光	小島造園(株)
戸塚	新田 武男	新田造園
戸塚	◎七澤 久信	(株)信栄
金沢・磯子	長岡 孝信	(株)並木園
横浜中央	荒井 恒介	アライ園
横浜南	川島 一平	川島造園
川崎南	高橋 秀勝	(株)植春造園
川崎北	松島 由和	(株)松島造園
川崎北	吉垣 安男	(株)吉垣緑地施設
横須賀	石原 宏行	(株)森崎ガーデン
湘南東	三井 悠示	相模庭苑(株)
湘南西	桑原 宣基	湘南造園(株)
湘南西	大澤 正男	(株)植勘大沢造園
湘南中央	石井 啓二	石井造園
湘南中央	内野 雅司	内野造園
県央	内田 卓弘	(株)内田造園
県北	大澤 克彦	(株)大澤造園
相模原	内藤 研二	(株)A.F.A.樹芸21
本部 扱	滝本 隆雄	講師委嘱
本部 扱	高橋 雅雄	講師委嘱
本部 扱	◎富田 改	講師委嘱

樹木・資材委員会役員一覧

支部名	氏名	事業所名
港北	小野 武夫	(株)小野グリーンサービス
緑・北	岩間 一夫	(株)岩間造園
緑・西	白井 拓幸	(株)庭幸
神奈川	椿 勉	椿園
旭	◎柏木 武司	柏木園芸
瀬谷	佐藤 吉伯	宮沢園
戸塚	◎小間 好幸	(株)小雀園芸
戸塚	石井美智雄	石井農園
金沢・磯子	里見 茂	京急緑地開発(株)
横浜中央	小林 哲夫	花庭園
横浜中央	倉田 一幸	(株)ダイヤ緑地
横浜南	石田 誠	(株)誠和緑地
横浜港南	石井 眞弘	眞翠造園
川崎南	高橋 和浩	(株)高橋造園
川崎北	手塚 賀久	(株)泉樹園
横須賀	脇谷 俊一	中央造園(株)
湘南東	中田 博之	(株)登志ま園
湘南西	◎内田 博文	(株)小田原植木
湘南中央	内山 明彦	(株)内山造園
県北	大木 登	(株)隆登緑化建設
相模原	内山 光明	(株)植光造園

協会役員一覧表

役職名	氏名	支部名	事業所名
会長	岸本 和好	鶴見	富士造園(株)
副会長	渡邊 宣昭	横濱南	横濱植木(株)
副会長	高橋 克明	川崎南	(株)植春造園
副会長	小山 俊一	湘南東	(株)やまなか園建設
副会長	石川 龍二	相模原	(株)植藤
相談役	鈴木 一松	旭	(株)みやした園芸
相談役	田澤 幸作	横濱南	(株)田澤園
相談役	下田 勇	横須賀	(株)太陽造園
理事	瀧川 隆雄	鶴見	(株)滝川園
理事	川原 正行	港北	川原造園(株)
理事	今西 稔	緑・東	今西園
理事	倉本 澄夫	緑・北	(株)倉本造園
理事	今泉 健寿	神奈川	(株)環境造園
理事	小川 眞	旭	(株)番場園
理事	田野井 茂	保土ヶ谷	田野井造園(株)
理事	高橋 更一	瀬谷	小島造園(株)
理事	生駒 隆一	戸塚	生駒造園土木(株)
理事	長谷川寿雄	戸塚	(株)正進園
理事	大胡周一郎	金沢・磯子	植周造園(株)
理事	細野 仁	横濱中央	(株)細野植産
理事	笠原三貴也	横濱港南	(株)港南植木ガーデン
理事	目代 久典	川崎北	川崎工苑建設(株)
理事	古川 香	横須賀	古川園芸(株)
理事	木村 義弘	湘南西	(株)木村植物園
理事	原 茂弘	湘南西	(株)原造園
理事	富田 改	湘南中央	(株)湘南グリーンサービス
理事	甘利 憲一	県央	(株)甘利園
理事	足立原哲男	県北	足立原造園土木(株)
専務理事	松井 徹	本部 扱	事務局
監事	川田 秀一	港北	川田造園
監事	新倉 治	本部 扱	青木税理士事務所

支部長一覧

支部名	氏名	事業所名
鶴見	瀧川 隆雄	(株)滝川園
港北	川田 秀一	川田造園
緑・西	小林 和男	ワコー緑建(株)
神奈川	松倉 仁	一造園土木(株)
旭	葛籠貫 輝	赤坂造園(株)
保土ヶ谷	田野井 茂	田野井造園(株)
瀬谷	相原 明	(株)明和造園
戸塚	北村 裕	(株)きたむら園
金沢・磯子	大胡周一郎	植周造園(株)
横濱中央	山田 久雄	(株)山田造園
横濱南	金子 篤司	植篤造園
横浜港南	鈴木 昭	(株)寿々木園
川崎南	井上 衛	(株)井上植木
川崎北	持田 明彦	庭乃持田園(株)
横須賀	久我 寛	(株)第一ガーデン
湘南東	安田 秀正	(株)京浜植物園
湘南西	木村 義広	(株)木村植物園
湘南中央	蛭田 榮一	蛭田造園(株)
県央	甘利 憲一	(株)甘利園
県北	芝口 正美	(株)綾瀬造園土木
相模原	田口 正典	(株)田口園芸

組合役員一覧表

役職名	氏名	支部名	事業所名
理事長	岸本 和好	鶴見	富士造園(株)
副理事長	長谷川寿雄	戸塚	(株)正進園
副理事長	村木 健一	川崎北	(株)村木園
副理事長	蛭田 榮一	湘南中央	蛭田造園(株)
理事	杉本 薫	鶴見	(株)杉本造園
理事	川原 正行	港北	川原造園(株)
理事	大久保 明	緑・東	丸子園
理事	和內 達夫	緑・西	(株)和內造園企画
理事	工藤 豊	緑・北	三和造園土木(株)
理事	岩岡 義明	緑・南	東農園
理事	小川 時男	神奈川	(株)原造園
理事	藤巻 司郎	神奈川	藤巻園建設(株)
理事	関水 金作	旭	(株)関水商事
理事	板津 博史	保土ヶ谷	(株)板津農園
理事	小川 進	瀬谷	あきやま園
理事	高橋 更一	瀬谷	小島造園(株)
理事	大橋 清己	戸塚	大橋庭園(株)
理事	渡邊 宏	金沢・磯子	渡邊造園
理事	細野 仁	横濱中央	(株)細野植産
理事	吉田 志郎	横濱南	(株)吉田造園
理事	笠原三貴也	横濱港南	(株)港南植木ガーデン
理事	遠藤 光哉	川崎南	(株)千鳥造園工事(株)
理事	古川 香	横須賀	古川園芸(株)
理事	三井 悠示	湘南東	相模庭苑(株)
理事	遠藤 幸雄	湘南西	(株)遠藤商事
理事	神崎 勝彦	県央	(株)さかみの園
理事	大澤 克彦	県北	(株)大澤造園
理事	石井 正典	相模原	(株)植藤
理事	松井 徹	本部 扱	事務局
監事	鳥海 務	保土ヶ谷	(株)笹山植木
監事	目代 久典	川崎北	川崎工苑建設(株)

公益法人制度検討特別委員会委員一覧

支部名	氏名	事業所名
港北	◎野村 直樹	奈良造園土木(株)
旭	石山 昭夫	石山造園(株)
戸塚	大谷 正樹	(株)日産クリエイティブサービス
金沢・磯子	◎菅野 健司	横浜緑地(株)
横浜中央	細野 仁	(株)細野植産
川崎北	持田 明彦	庭乃持田園(株)
横須賀	関 義男	(株)太陽造園
湘南西	◎原 伸定	(株)植徳
湘南中央	吉川 誠	吉川産業(株)
県央	木村 勝順	(株)にしき
県北	足立原哲男	足立原造園土木(株)
本部 扱	新倉 治	青木税理士事務所
本部 扱	松井 徹	事務局

公園緑地部会役員一覧

支部名	氏名	事業所名
鶴見	遊佐 重男	(株)グリーンケア
港北	◎野村 直樹	奈良造園土木(株)
緑・東	岸 純一	(株)貝塚造園
緑・南	中山 敏成	(株)本医園
緑・西	村田 典生	(株)緑生園
緑・北	田代 章生	(株)大和園
神奈川	小山田照蔵	一造園土木(株)
旭	高橋 卓	(株)泰山園
旭	前田 薫	(株)鶴松植木
保土ヶ谷	常盤 英明	常盤造園(株)
瀬谷	堀江 伸吾	堀江造園(株)
戸塚	北村 善輝	(株)きたむら園
戸塚	◎大谷 正樹	(株)日産クリエイティブサービス
金沢・磯子	◎菅野 健司	横浜緑地(株)
横浜中央	細野 仁	(株)細野植産
横浜中央	内田 悟史	(株)大匠緑化建設
横浜南	永吉 克哲	(株)永吉緑化
横浜港南	望月 俊宏	(株)エムテックグリーン
川崎南	野村 強	野村造園建設(株)
川崎北	藤井 信良	河津造園土木(株)
川崎北	新井 秀樹	(株)三宝緑地
横須賀	天野 久	(株)日本緑化造園
湘南東	国友 義久	平川造園土木(株)
湘南西	岡部 一郎	(株)東開造園土木
湘南西	菊地 雅彦	(株)菊地造園
湘南西	関野 秀則	(株)足柄グリーンサービス
湘南中央	吉川 誠	吉川産業(株)
県央	◎中本 雅幸	日本シーダー(株)
県北	菅 泰浩	(株)泰成緑地建設
県北	荒井 敏行	(株)ヤマシゲ
相模原	井上 勝	(株)井上創庭舎
相模原	梶浦 義昭	(株)植義

庭園部会役員一覧

支部名	氏名	事業所名
鶴見	杉本 正夫	(株)鶴見緑化
港北	川田 秀一	川田造園
港北	中山 秋治	(株)中山造園資材
緑・東	神之園文男	(株)神之園
緑・南	◎小出 正治	小出造園
緑・西	森 照征	青葉台ガーデナー
緑・北	飯島 貞芳	飯島園
神奈川	小川 時男	(株)原造園
神奈川	横山 康雄	中山造園
旭	佐藤三代治	(株)佐藤造園企画
保土ヶ谷	島海 務	(株)笹山植木
瀬谷	小川 進	あきやま園
戸塚	石川 謙二	(株)石川造園
戸塚	長瀬 悦雄	(株)いしはら造園
金沢・磯子	大胡真一郎	大胡造園
金沢・磯子	◎大胡周一郎	植周造園(株)
横浜中央	小林 裕也	(株)アートグリーン溝口造園
横浜南	川崎 安男	川崎造園
横浜港南	石井 眞弘	眞翠造園
川崎南	高橋 秀勝	(株)植春造園
川崎南	◎井上 衛	(株)井上植木
川崎北	村野 秀次	(株)村野庭苑緑化
川崎北	持田 明彦	庭乃持田園(株)
横須賀	高橋 裕幸	(株)神金造園
湘南東	◎渡部 定男	(株)植定
湘南西	原田 嘉幸	(株)実生園
湘南西	大澤 正男	(株)植勘大沢造園
湘南西	遠藤 幸雄	(株)遠藤商事
湘南中央	長谷川好正	長谷川造園
県央	渋谷喜久雄	(株)渋谷造園
県北	風間 成浩	風間造園
相模原	大用 裕司	(株)実生園
相模原	境 正男	(株)境造園

県域青年部会役員一覧

支部名	氏名	事業所名
鶴見	山田 玄人	(株)山田造園
鶴見	加山 徳樹	(株)幸徳園
港北	加山 浩一	師岡園
港北	大貫 英樹	大樹園
緑・東	唐戸 国彦	曲松園
緑・西	荒井 進一	青葉台ガーデナー
神奈川	平本 俊満	(株)平本造園
神奈川	◎小山田照蔵	一造園土木(株)
旭	高橋 秀治	(株)泰山園
旭	稲垣 誠	赤坂造園(株)
保土ヶ谷	岩本 義博	(株)植正岩本園
瀬谷	◎小島 貴洋	小島造園(株)
瀬谷	相澤 賢一	(株)日向山庭園
戸塚	森 要	森新造園
戸塚	長瀬 輝雄	(株)いしはら造園
金沢・磯子	◎黒川 辰也	(株)金沢臨海サービス
金沢・磯子	橋本 喜之	(株)ワールドグリーンメンテナンス
横浜中央	小林 裕也	(株)アートグリーン溝口造園
横浜中央	山田 俊夫	(株)山田造園
横浜中央	吉田 龍	(株)草のよしだや
横浜南	石井 裕基	植茂園
横浜南	金子 隆男	植篤造園
横浜港南	遠藤 登	(株)遠藤造園
横浜港南	織茂祐次郎	織茂造園
川崎南	高橋 隆治	(株)植春造園
川崎北	石川 智史	(株)斎藤造園
横須賀	吉倉 博樹	(株)吉倉造園
湘南東	◎小山 博樹	(株)やまなか園建設
湘南西	原田 滋久	(株)実生園
湘南西	勝俣 元気	(株)勝俣造園
湘南中央	佐野 洋	(株)佐野造園土木
県央	大村 英之	(株)厚木植物園
県北	鈴野 隆大	鈴野緑地土木(株)
県北	曾根 忠和	(株)大曾根造園
相模原	小山 直樹	(株)小山造園
相模原	本多 覚	(株)相模植木

「神奈川のみどりを創り、育てる」集い開催

第三十七回神奈川県造園業協会通常総会・第三十五回日本造園建設業協会神奈川支部通常総会を終了後、「かながわのみどりを創り、育てる」集いが開催されました。神奈川県造園業協会の任期満了による役員選任に伴い正副会長の交代があり、新旧正副会長の紹介され、続いて岸本神奈川造園業協会会長、山田日造協神奈川支部支部長両氏による主催者挨拶に続き、神奈川県副知事黒川雅夫様より、「皆様方には、日頃から、緑地保全や都市公園の整備など「県の緑行政」にたいし

ましてご理解・協力をいただいております、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。また、協会の皆様方が造園技術の研鑽に努められ

私どもの進める住みよみ県土づくりにご尽力いただいたことに、深く敬意を表します。

さて、三月十一日に発生した東日本大震災は、多くの人々の命を瞬時に奪い去るとともに、東北地方を中心に広い範囲わたって甚大な被害をもたらしました。こうした中、先月四月一日に神奈川造園業協会として募った義援金を県を通じて被災地の支援に役立てたいとの申し出をいただきました。現在五月いっぱいをめどに会員の皆様から義援金を募られていると伺っており、協会の皆様の暖かいご対応に敬意を表します。

また、福島県の原子力発電所の事故の影響が長期化するに伴い、人々の生活を始め商工業から農林水産業まで暗い影を落としている状況にあります。

さて、本県の財政状況は、依然として厳しい状況にありますが、骨格予算として編成した当初予算の状況を申し上げますと、都市公園関連事業含む「みどり関連」では、約

四十億五千万となっており、主な都市公園関連事業にありましては、「大磯城山公園(旧吉田邸)」や「保土ヶ谷公園プール周辺」などを継続して整備するとともに「観音崎公園再整備工事」着手することとしております。また、県民の皆

様や企業からいただいた寄付を維持管理費に充当する「かながわ街路樹パートナー制度」の導入や、超過課税の活用により街路樹整備や維持管理に努めてまいります。

また、主な自然環境保全関連事業としては、三浦市にありまして「小網代の森」という首都圏でも非常に貴重な緑地につきまして用地取得を完了し、今後環境学習の場として活用するための整備を鋭意進めていくこととしております。

明後日になります。五月二十二日の日曜日にはポスト植樹祭企画とした「全国植樹祭の森へ行く！」というイベントを、昨年実施した全国植樹祭の会場で開催します。これは毎年五月第四日曜日を「かながわの森へ行こう!の日」として皆様親しんでいただく契機とするものでございます。こうした取組みなども通じて「かながわのみどり」施策を進めてまいります。

四月に新たに就任した黒岩知事が表明している「いのち輝くマグネット神奈川」の実現とは、生きてよかったと実感できる神奈川、人や物を引き付ける力をもつ神奈川を実現す

ると言う意味が込められています。今後、新知事の元で一体となって活力と魅力溢れた県土の形成と緑の確保に努めてまいりますので、皆様方の優れた技術と豊富な知識・経験により引

き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。結びにあたりまして、「神奈川県造園業協会」及び「日本造園建設業協会神奈川支部」の益々のご発展と、本日お集まりの皆様方のご

健康を心から祈念いたします」との挨拶があり、神奈川県議会議員持田文男様の挨拶に次いで神奈川県議会みどり議員連盟の出席者の紹介があり、代表して神奈川県造園業協会理事長池守典行様の乾杯のご発声で和やかな懇談会となりました。

問松田良昭様より力強い励ましと支援の挨拶の後、幹部職員、関係団体の来賓紹介に続き、財団法人神奈川県公園協会理事長池守典行様の乾杯のご発声で和やかな懇談会となりました。

問松田良昭様より力強い励ましと支援の挨拶の後、幹部職員、関係団体の来賓紹介に続き、財団法人神奈川県公園協会理事長池守典行様の乾杯のご発声で和やかな懇談会となりました。



黒川神奈川副知事挨拶

生活を始め商工業から農林水産業まで暗い影を落としている状況にあります。さて、本県の財政状況は、依然として厳しい状況にありますが、骨格予算として編成した当初予算の状況を申し上げますと、都市公園関連事業含む「みどり関連」では、約



神奈川県議会みどり議員連盟 松田会長挨拶

四月に新たに就任した黒岩知事が表明している「いのち輝くマグネット神奈川」の実現とは、生きてよかったと実感できる神奈川、人や物を引き付ける力をもつ神奈川を実現す



持田神奈川県議会議長挨拶

必要ですとの講評が述べられました。続いて、表彰式が行なわれ、山田支部長より「降り頻る夜」最優秀賞を清水進様に、「見事な水仙ロード」優秀賞を添田英治様を初め、最優秀賞一点、優秀賞一点、入選五点、佳作十点を、特別賞として神奈川県知事賞、神奈川県議会議長賞について賞状と賞金が授与されました。

「第四回かながわ街路樹フォトコンテスト」表彰式開催

（社）日本造園建設業協会神奈川支部主催の「第四回かながわ街路樹フォトコンテスト」表彰式が五月二十日、ホテル横浜ガーデンに於いて開催されました。

日頃、何気なく見過ごしがちな街路樹の四季折々の姿を写すことで街路樹の大切さを再認識してもらうため、昨年に引き続き第四回のフォトコンテストを実施したところ百三十四点の応募があり、藤井英二郎千葉大学教授、大河原雅彦神奈川新聞編集局映像部力メラマン、山田康博支部長の審査により最優秀賞・優秀賞各一点、入選五点、佳作十

点、特別賞として神奈川県知事賞、神奈川県議会議長賞等十九作品が選定されました。

表彰式では、大河原氏から「街路樹は日々の生活の中に潤いと季節感を教えてくれる貴重存在」であり、街路樹を守り、育てていくためには、行政の力だけでなく市民一人一人の力が

必要ですとの講評が述べられました。続いて、表彰式が行なわれ、山田支部長より「降り頻る夜」最優秀賞を清水進様に、「見事な水仙ロード」優秀賞を添田英治様を初め、最優秀賞一点、優秀賞一点、入選五点、佳作十点を、特別賞として神奈川県知事賞、神奈川県議会議長賞について賞状と賞金が授与されました。

今年も、国土交通省関東地方整備局横浜並びに相武国道事務所、神奈川県・横浜市・川崎市、神奈川新聞社、テレビ神奈川、NH

K横浜放送局の後援を得て「第五回かながわ街路樹フォトコンテスト」の作品を募集しておりますので多数の応募お待ちしております。



▲神奈川県議議長賞 「子どもらの春」(大庭 静雄)
桜並木を自転車で通り過ぎる当たり前の風景をきちんと作品にした。二人の子どもの間には、しっかりと大地に根を張り、満開の花を「得意気」にみせている桜の存在感に圧倒される。



山田支部長表彰状授与



持田神奈川県議会議長入賞作品閲覧

岸労働保険事務組合副会長が労働保険事務組合優良委託事業主の表彰を受ける



労働保険事務組合優良委託事業主の表彰式が平成二十三年五月十八日ホテル横浜ガーデンにて行われた。

当協会の労働保険事務組合の制度は昭和五十六年四月に設立した組合で当初は三十社そこそこだったのが現在は六十三社と拡大した。緑支部の(株)貝塚造園の岸純一副会長は平成十三年より副会長を務められ、事務組合の運営に多大な貢献し、発展のため尽力頂いている。この度の受賞、本当におめでとうございました。

古川 香 元副会長 黄綬褒章受章



当協会の古川香元副会長がこの度、春の褒章において「黄綬褒章」を受章した。平成二十三年六月二十九日国土交通省にて褒章・勲記の伝達式が行われた。

古川元副会長は、「この度は神奈川県造園業協会のご推薦によりはからずも黄綬褒章受章の栄誉に浴しましたことは、身に余る光栄で、心より御礼申し上げます。

「みどり行政に関する要望書」提出

「景気・環境対策として、グリーンニューディール施策による緑化関連事業や防災公園等災害防止への集中投資による内需拡大」「都市における緑化」の推進等を

(社)神奈川県造園業協会と(社)日本造園建設業協会神奈川県支部協同で、七月二十一日に自由民主党神奈川県支部連合会・自由民主党神奈川県議会議員団へ要望書を提出し、次の六項目について要望した。

- 要望事項として、①景気・環境対策として、また、計画的な社会資本の整備保全や災害への対応のためにも防災公園の設置等緑化関連公共事業の予算の確保・増加と受注機会の確保を②都市公園の整備や既存都市公園の再整備、緑地の保全、緑化の推進と三浦半島地域への国営公園の誘致活動の積極的な推進を③公園・緑地及び道路、河川、港湾、住宅施設等のうち造園に関する整備及び維持工事は地域の実情に応じて分離し造園専門業者に発注を、また、発注にあたっては公共工事の品質工事の品質確保を図るため工事実績、造園に関する各種資格所有者の技術力等の評価を④社団法人日



本造園建設業協会認定の街路樹剪定士の積極的活用を⑤校庭及び養護施設の芝生化の推進を⑥不正行為の防止と不良不適業者を排除するため業務実態調査の強化と調査結果の入札制度への反映について、造園業界の大変厳しい現状をふまえて要望事項の実現に向けて強く申し入れた。

ヒアリングの中で不良不適業者を排除するため業務実態調査がどのように反映

されているのか、また、街路樹の剪定・維持管理工事の発注に当って土木業界からの参入状況、指定管理者制度の問題点等について論議された。

小山俊一副会長 県民功労賞受賞

平成二十三年六月十四日県庁大会議室において、黒岩知事より「神奈川県県民功労者」として当協会副会長小山俊一氏が表彰されました。



この度の受章は、私個人にとり、協会の諸先輩方や多くの関係者が長年に亘り協会を通して社会貢献をしてまいりましたことが評価されたことの賜物と受け止めております。

二十一世紀は、経済・社会等各分野で世界的に不透明、不確実な時代にあると言われ、大変厳しい状況にあります。今回の受章を契機に、なお一層精進し造園業協会の発展に貢献できるように努めて参りますので、従前にもまして皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。と喜びを語った。

病害虫防除講習会を開催 安全で適正使用を心がける大切さ

当協会と神奈川県農業技術センター病害虫防除部・神奈川県植木連合会と共催で第一回目の病害虫防除講習会を実施した。

第一回目は、六月三十日かながわ県民活動サポートセンターホールにおいて実施され一五一名が参加した。出席者には、当日各自に「修了証」を発行。

講習会は、約二時間半に亘り「農薬の適正使用と安全管理」について病害虫防除部副部長伊與部有一氏並

びに「住宅地における公園・街路樹の等の防除技術」について社団法人緑の安全推進協会千野義彦氏から事例を示しながら講義された。

この講習会は、農薬散布時の人に対する健康や周辺住民・環境への安全性確保の大切さについて発注する側の行政と受注する造園関係事業所が共通認識を共有し、円滑な病害虫防除を図ることを目的とした重要な講習会です。



第二回目は、平成二十四



三陸の今

荒川昭男

現世と地獄の距離

五月末から六月九日帰宅するまでの岩手沿岸での体験報告です。

盛岡から緑豊かな山々に囲まれた宮古街道を、太平洋に向かって走ること2時間。

宮古湾のドンツマリ津軽石の光景は強烈だった。鉄骨の柱のみ残った2階建ての残骸に、養殖筏の大きな無数の浮きがロープと絡み合っており下がついていた。

今回の三陸で感じたことは、現世と地獄との距離が極めて近いということ。しかも、その長さが五百キロ以上と長いこと。

石段の五段上は今までの通りの現世。現世から見下ろすとそこは、住み慣れた自宅を津波で流された地獄。

「家も家族も無事ですみませんでした」と言い残し、ある一家が引越して行ったという記事を新聞で読んだが、今被災地では、考えられないことが数多く起こっている。

アヤマ

重さが五十キロ以上あるコンクリートの分厚い溝蓋を

次々とあげて、中に埋まっている土砂を土のう袋に詰める作業を毎日繰り返す。

三ヶ月前の魚、カニ、油汚物がブレンドされた土砂にボランティアの人達は喘ぐ。

魚とカニは半分食べたくなると皆言う。

私は地震直前に鼻の手術をして、嗅覚が鈍くなっているのが幸いした。

週二回の通院治療が、月一回になるのを待つて岩手に来た。正直な話、喘ぐ仲間を見ていると、臭いを共有できない寂しさが少しあった。

昼休みに近所を散策するが、自然と、植木や草花の状態に関心が向く。

津波を受けてヒムロスギ、ドウダンツツジ、ウメモドキ、桜、サツキ、ツツジ、糸ヒバ等の枯れが目立つ。青々とした葉が目立っていたのはキャラ、コナラ、ポプラ。耐潮性が強いと言われている黒松や、カイズカイブキ等の枯木が多い反面、潮害に弱いと言われているイチヨウの元気な姿が印象に残った。枯木の根元にスズランが群れて咲いていた。

小さな白い花は輝き、青い葉は嬉しそうに踊っていた。

花言葉の「幸せの再来」

が、この庭に無縁でないことを願う。庭石だけが残され、その石組の間からアヤメが遠慮がちに花を咲かせていた。いずれ庭石と共にアヤメも処分されてしまうのだろう。

あの津波にも負けなかったのに。

流された

宮古でのボランティアを終え帰る日に、山田町、船

越、大槌、釜石、大船渡、陸前高田等を訪ねた。更に一関に出て、毛越寺の浄土庭園を三十年ぶりに見学した。

復興が進む宮古に比べ、果たしてこの先復興できるのかとボー然としてしまう状況の町が続く。言葉を失って何度も立ちつくした。

四十五年前の学生時代、テントも張らず野宿した船越半島突端の荒神浜で、津波を受け崩壊した防波堤の残骸を沖に見てたたずんでいた。のんきに青年時代を回想している私に、一人の男性が近づいてきた。私より3才年下の男性は、三月十一日のことを話してくれ

た。

た。

私たちの脇に、高さ六mの崩壊しなかった頑強そうな分厚いコンクリートの防波堤がある。最初の連絡で

三mの津波と聞いた魚師達も大勢ボランティアに来ていたが、やはり「流された」という表現が多かった。「流された」という表現には、

この防波堤の上にズラリと並んでいたらしい。その人達の叫び声を聞き、男性は防波堤から十m程離れた小山の上に必死で逃げた。

振り返った男性は、防波堤の上、また、下で集まっていた人達が流されていくのを、唯見ているしかなかったらしい。

男性は亡くなったとも、死んだとも言わない。別れるときまで「死」という言葉はつかわなかった。十日

間こちらにいて感じたことがある。

「流された」という表現以外あまり聞かなかったことだ。避難所にいる被災者も大勢ボランティアに来ていたが、やはり「流された」という表現が多かった。「流された」という表現には、

終局的重さがある「死」という言葉にくらべ、何か別の思いがこめられているように感じた。でもこれは、心温かいといわれている東北人特有のものかも知れない。

何とか耐えている人達に会いに、また三陸へ出かけようと思っている。



盛岡から緑豊かな宮古街道を走ってきた。最初に私の目に飛び込んできた「荒景」がこれだった。



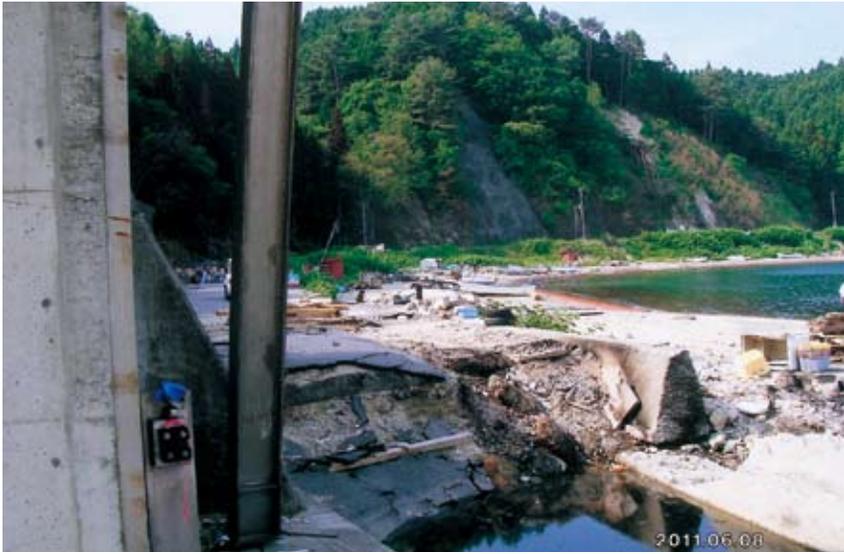
道の両サイドの家々の内部は、津波によって住まいの機能を失い、近日中に解体される。



近日中に解体される自宅回りの片付け作業を、ご主人はいつまでも見つめていた。



苦渋の選択をした後の笑顔を理解しようとしても、私と被災者との埋めがたい距離感が邪魔をする



45年前数日間野宿した船越の浜。当時はなかった防波堤と大型の防潮扉は津波で消えた。



東北には馳せ参じた女性、男性、肉食、草食、外人、若者、年寄り全ての人達がいた。



陸前高田松原。地上1mでへし折られた松の根は、しっかり輪郭を残していた。遠くに1本残った話題の松が見えるが、葉は赤く変色している。



津波の被害を受けた建物はすでに撤去され、残された庭石の間でアヤメがひっそりと咲いていた。



大槌町中心部の寺の墓地。津波と火災の両方を受け墓石は全て黒ずみ、火割れていた。



異臭を放つ土砂を側溝よりかい出し、一日の作業で約150から200程袋づめにする。



浄土庭園として有名な毛越寺大泉ヶ池の立派な立石も、地震で傾いたらしい。自然の恐ろしい牙は極楽浄土にも向けられた。



幹はどれも無残に折られているが、地下の根系がスクラムを組み、波の浸食から浜を守った。



高村神奈川県県土整備局長へ報告

被災地において応急対策や支援対策に全力を尽くされている関係者の皆

し申し上げます。

東日本大震災によりお亡くなりになられた方々に、心からお悔やみを申し上げます。また、想像を絶する被害をうけ、極めて困難な状況の中でご不便な生活を送られている被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

被災地において応急対策や支援対策に全力を尽くされている関係者の皆

し申し上げます。

東日本大震災によりお亡くなりになられた方々に、心からお悔やみを申し上げます。また、想像を絶する被害をうけ、極めて困難な状況の中でご不便な生活を送られている被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

去る三月十一日東北地方太平洋沖においてマグニチュード九・〇の大地震が発生し、東日本を中心に未曾有の被害をもたらしていることは、皆様ご承知のことと存じます。

義援金につきましては、平成二十三年六月七日に社会福祉法人神奈川県共同募金会に納付し、併せて六月十六日に知事宛文書をもって高村栄二神奈川県県土整備局長にご報告して参りました。

東日本大震災にかか
る義援金協力の御礼
会長 岸本和好

様に感謝の意を表します。つきましては、当協会としても被災地域の一日も早い救援と復興のために会員皆様に義援金のご協力をお願い致しましたところ、百六十二社・百六十一万五千七百二十三円の多額な義援金のご支援頂きました。

平成二十三年 造園技能士実技講習会・実技検定試験・学科講習開催

実技講習会

七月十六日から十九日迄の4日間横浜農協きた地区営農経済センターに於いて開催されました。一級四十二名、二級四十二名、三級二名計八十六名が受講し、猛暑の中、九名の指導員の熱心な指導を受け大汗をかきながら一生懸命取り組んでいました。また、苦手の要素模擬試験の結果に一喜一憂し、要素の解説に真剣に耳目を傾けていた。

昨年同様猛暑の中、二名の途中リタイアが出ました。今年も、極暑対策として二十分の途中休憩をとり、また、受講生に熱中塩アメを配布した。



【造園技能士実技講習会 (2級課題モデル)】



【造園技能士実技講習会 (要素模擬テスト)】



【造園技能士実技講習会 (2級指導風景)】



【造園技能士実技講習会 (会場設営)】



【造園技能士実技検定試験 (留意事項説明)】

実技検定試験

七月三十日から八月一日迄三日間実技検定試験が行なわれました。

熱中症対策として今年も熱中塩アメを受験生に配りましたが、幸いに天候は雨模様で比較的涼しくしのぎ易い検定であった。

今年の検定受験者は、一級八十五名、二級百二十名、三級七十七名計二八二名で検定員・補佐員の見守る中、これまでの研鑽と日頃培った技を發揮すべく、暑さを忘れ一心不乱に作業に取り組んでいました。

今年、二級の課題二脚鳥居支柱がなくなり、女性が受検し易くなり合格率が目立ちます。協会の一大事業である実技講習会、検定実技試験、学科講習会に携わっている関係者の皆様のご尽力とご苦労に感謝申し上げます。



【造園技能士実技検定試験 (2級受検風景)】



【造園技能士実技検定試験 (1級受検風景)】



【造園技能士実技検定試験 (3級受検風景)】



【造園技能士実技検定試験 (2級受検風景)】



【造園技能士実技検定試験 (1級受検風景)】



【1・2級造園技能士学科講習会】

一・二級造園技能士学科講習会を開催

八月五日かながわ労働プラザにおいて一・二級造園技能士学科講習会を教育研修委員四人の講師により午前・午後にわたる二本造園施工必携とサブテキストを基に熱心に講義が行われ、一級二十四名、二級十八名計四十二名の受講生が真剣にメモを取っていました。

ドイツ生まれの高性能パワーツール 日本上陸!!

STIHL® バッテリーツール 新発売

お試しコーナーあり!! 実際にバッテリーツールが体験できる!!

<p>新開発 36V 刈払機 FSA 85 ¥39,800~ ドライブシステム</p>	<p>新開発 36V チェンソー MSA 160 C-BQ ¥49,800~ 低振動、高い切削性能</p>
<p>新開発 36V 強力ブロー プロワー BGA 85 ¥39,800~</p>	<p>新開発 36V ヘッドリマー HSA ¥39,800~ 高速ストローク</p>

バッテリーをシェアする新システム

神奈川県唯一の STIHL Shop®

株式会社 エンコー

横浜市戸塚区深谷町1489-1 TEL.045-858-4111
定休日/日曜・祝日 営業時間/8:30~18:30

STIHL SHOPだから提供できる充実したサービス

- STIHL商品を手にとって体感が可能!
- 気になる商品の実演コーナー完備!
- 初心者様にも丁寧に説明いたします!
- 購入後のアフターサービスはお任せ下さい!

ご来店お待ちしております!!

●会員名簿の変更● (平成23年度名簿)

会員名簿の訂正は今回名簿を作成しますので、そちらをご覧ください。

新入会員

- 港北支部
萩原園 代表者 萩原孝
〒223-0057 横浜市港北区新羽町4489
Tel 045-591-1133 Fax 045-591-2293
- 横浜中央支部
南グリーングラス 代表者 月川洋子
〒231-0867 横浜市中区打越44番地6
Tel 045-253-0043 Fax 045-253-0043
- 湘南中央支部
南神谷造園 代表者 神谷雅昭
〒252-0815 藤沢市石川1-31-12
Tel 0466-87-2904 Fax 0466-87-2904
- 県北支部
京浜実業(株) 代表者 上野直紀
〒252-0014 座間市栗原中央4-22-20
Tel 046-252-0733 Fax 046-251-9789
- 賛助会員
株シンコー 代表者 新納政光
〒245-0067 横浜市戸塚区深谷町1489-1
Tel 045-858-4111 Fax 045-858-4141
- 賛助会員
株日本トリム東京支店 代表者 植木芳雄
〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-10-13
荒井ビル7階
Tel 03-3984-3611 Fax 03-3986-9963

再入会員

- 横須賀支部
株二宮造園土木 代表者 高橋健吾
〒240-0101 横須賀市長坂4-1-6
Tel 046-857-0609 Fax 046-856-9010
- 湘南東支部
南山龍造園土木興業 代表者 山村龍一
〒251-0002 藤沢市大鋸1031-24
Tel 0466-24-2298 Fax 0466-24-2822

事務局情報

(月間行事一覧)

●諸会議その他●

8/1 (月)	1・2・3級造園技能士実技試験
8/2 (火)	1・2・3級造園技能士実技試験採点
8/4 (木)	公園緑地部会経営研修委員会
8/5 (金)	造園技能検定学科講習会
8/8 (月)	情報委員会
8/10 (水)	公園緑地部会正副部会長・正副委員長 県立高校芝生化勉強会 公園緑地部会経営・技術研修委員会合同会議
8/19 (金)	横浜技能まつり出展打合せ
8/21 (日)	1・2級造園技能検定学科・要素試験 (青山学院大学)
8/22 (月)	情報委員会
8/25 (木)	公園緑地部会総務・経営・技術委員会
9/1 (木)	公園緑地部会お三の宮日枝幼稚園芝刈等
9/6 (火)	情報委員会
9/9 (金)	街路樹剪定士更新研修会 (横浜情報文化センター)
9/11 (日)	第32回よこはま技能まつり
9/14・15・16 (水・木・金)	チェーンソー取扱特別講習会 (キャタピラー教習所相模教習センター)
9/16 (金)	県域青年部会
9/25 (日)	作庭塾「庭守」庭園めぐり

支部だより

庭園見学会

金沢 磯子支部
大胡 隆典

桜花のたよりを聞き、四月十日(日)金沢・磯子支部で、庭園見学会に行ってきました。例年春に開催しているこの企画も今回で七回目となります。

当日は、晴天に恵まれ、戸塚、横浜南西支部青年部の方々にも御参加を頂き、総勢二十六名を乗せたバスは、一路東京を目指します。

最初の見学地は、皇居・東御苑です。私も含め参加者の多くが初めての参観のようです。

お濠を渡り、大手門から二の丸へと進みます。巨石を用いた江戸城の石垣に、機械の無い時代に寸分違わ



皇居東御苑にて



国立博物館庭園

ぬ合端をどのように加工し積み上げたのか、先人の技術に思いを馳せます。梢を風に揺らす雑木林は、春の日差しを受け、やわらかに伸びています。何処も手入れが行き届き、綺麗に管理されています。

二の丸庭園は、池泉回遊式で、昭和四十三年に九代将軍徳川家重の時代の絵図

面を参考に造られました。開けた視界に飛び込んでくるのは、広い池となだらかな芝生、そして芽を出したばかりの菖蒲田です。池の周囲には、眩い萌黄色のモミジの新緑と今春の寒の戻りの悪戯か、一斉に咲き競うソメイヨシノや枝垂れ桜が

「都の春」に錦を飾ります。池の縁を回ると、今回は残念ながら流水が止まっています。また、滝石組みや華やかなシャクナゲも見ることが出来ます。

その後、天守台に登り、石室や松の大廊下跡などを周り、皇居を後にしました。午後から、上野の東京国立博物館、春の庭園開放に参ります。正面から入場すると本館前、満開のシダレヨシノ桜が迎えてくれます。

一般開放は、春と秋の年二回ですが、通年茶室の利用が出来、今回も原三溪・松永耳庵ゆかりの春草廬と小堀遠州が伏見に建てた転合庵、尾張国明眼院の書院で丸山応挙揮毫の障壁画の

有る応挙館の三棟が御茶会などで使用するため、やや離れた通路からの見学になりました。

六窓庵は、慶安年間、奈良興福寺慈眼院に建てられた茶室です。奈良国立博物館の八窓庵と東大寺塔頭四聖房の隠岐録と共に大和の三茶室と呼ばれるそうです。

思った以上にこじんまりとしており、豪華な印象を受けませんが、落ち着いた佇まいや材の質感が歴史を感じさせます。にじり口にある手水鉢は、四方仏水盤です。延長三年(九二五)関白藤原忠平が建立した山城国法性寺の石塔の一つだったとのことです。

中鉢の下り蹲踞になっていた、四季百花の乱れ咲く有り、仏顔も風化しており重ねた月日の重みを感じます。九条館は、元は九条邸の当主の居室だったそうです。外観は、棟の幅の狭い寄棟のなだらかな屋根を持つシンプルで丸山応挙の意匠が随分と見られる建物です。中を覗くと床張りに付けに楼閣山水図が描かれ、

一家に一台トリムイオンNEO

新世代の高性能整水器



株式会社 日本トリム

TEL.0120-328-106

東証一部上場：コード6788

ご婚礼・ご宴会・ご宿泊・レストラン

皆様のご宴会、お集り、会議にご利用ください。心を込めたサービスで、お手伝いいたします。

ご婚礼

お二人の愛を誓う厳粛なご婚礼セレモニー。そして幸せなお二人の門出を祝う披露宴を素敵に演出いたします。お二人らしいオリジナルウェディングを…。

レストラン

中国料理「上海酒家」、西洋料理「ヴァンセーヌ」のシェフが腕によりをかけた料理をご賞味ください。

ご宿泊

アクセスも良く、快適なご宿泊を。

ご宴会

祝賀会、歓送迎会、同窓会、各種パーティーなど、ご人数や用途に合わせてご利用いただけるバンケットルームや、ミーティングルームをご用意しております。



ホテル横浜ガーデン

〒231-0023 横浜市中区山下町254
TEL.045-641-1466 (ダイヤルイン)
JR関内駅南口横浜スタジアム隣り



鉄平石加工2



鉄平石加工1



型枠内配置1



鉄平石加工3



養生



下地打込み



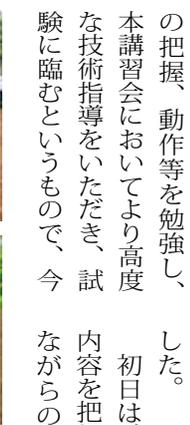
座学1



洗出し完了

鉄平石加工、下拵え及び

その上からも散水する。さら



二日目は、

正確に課題を

苦手な部分を見

昨年にも続き本年も技能士

育成の為、資材協力をいた

資材においても、当初は

平成二十三年五月一日に

横浜南支部技術研修会報告

杉皮葺きの四阿や左右の盛

技の講師は金子篤司支部

情報委員 岡本勝正

開の庭園も有りますが、皆

事前の下拵えとして二日

屋上庭園やバルコニーな

一部としてオブジェのよう

その際の水加減は納豆く

下拵えの済んだ型枠の中

で鉄平石の加工、あらかじめ

続いて養生の作業に移

この時に施工面の周辺部

するなどの注意があった。

鶴見支部では、技能検定

鶴見支部自主講習会

下地の準備、道具の使い

初日は、基本知識、課題

前田陽介

子隆夫人の恵さんのおい

資材においても、当初は

この支部による自主講習

研修会はこの後二回(八